

町民インタビュー

聞かせて

“ふるさと応援大使”あとむさんに密着!



9月13日開催の和寒東山スキー場ヒルクライムレースに参加した、和寒町ふるさと応援大使で吉本興業㈱所属、和寒町出身の芸人あとむさんにお話を伺いました。

応援大使になってみて

率直に嬉しく思っています。メディアや他市町村からの信頼度も高まり、なにより地元に帰る機会が増えてきたことが大きな変化です。以前は、3～4年帰省していませんでしたが、応援大使になったことで、ふるさととの繋がりを改めて感じています。



ヒルクライムに参加して

想像以上にきつかったです。学生時代は野球をやっていたので、体力には自信があったのですが、まったく歯が立ちませんでした。途中で頭がおかしくなりそうなくらい、本当に過酷なレースでした（笑）

今後の活動への想いは

M－1グランプリやテレビ出演ではなく、動画をきっかけに多くの方に知っていただいたことは、正直戸惑いもあります。しかし、そのことで地元の皆さんが本当に喜んでくれたことが、何より嬉しかったです。これからも北海道を拠点に活躍し、ふるさとに喜んでもらえるような活動を続けていきたいです。

将来的に和寒に帰ってきますか



北海道と東京の二拠点で活動し、北海道にも家を持ちたいですが、和寒だと東京へのアクセスが・・・（笑）



取材を通して

今回の取材では、応援大使としての喜びや、ふるさとへの熱い想いを伺うことが出来ました。動画をきっかけに注目を集め、活動の幅を広げる中でも、地元の皆さんの喜びを何より大切にしている姿が印象的でした。今後も北海道を舞台に、益々活躍されることを期待しています。

広報委員の一言

私が若い頃、よく通った今田商店二階の喫茶にれ。

カウンターで、にれのママであるおばあちゃんの作るご飯をよく食べていた少年が、今お笑いの世界で頑張っていることを皆さんご存じですか。

昨年、定例会の一般質問で観光大使への任命を提案したところ「ふるさと応援大使」に就任が決まり、あらためて和寒町との強いつながりができたことをうれしく思います。

今後さらに活躍していただき、和寒町の名を全国にPRしてもらうよう、皆さん一緒に応援してください。（哲也）

議会傍聴のご案内

定例会の予定

12月10日・11日

みなさまのお越しをお待ちしています

9月定例会の傍聴者

6名

議会だよりワットサム　第125号　2026年11月20日発行
●発行：和寒町議会　●編集：議会広報委員会　●TEL（0165）32-2436